

1. 木質バイオマス関連情報

■国立研究開発法人産業技術総合研究所(東京、以下「産総研」)、木質バイオマス(広葉樹)からの糖製造コストを大きく削減できる技術を開発。糖はバイオマス由来の化成品や燃料の原料となる出発物質の一つで、糖製造には一般的に前処理と酵素糖化が必要であり、様々な前処理が研究されてきた。その中で水と熱しか用いない前処理である水熱処理は環境負荷は小さいが大量の水を使用し糖化率が低く、薬剤処理や粉碎処理が必要な場合もあり、コストを増加させていた。今回開発した技術では従来に比べ水使用量を9割程度減らすことで加熱エネルギーを最大80%以上低減するとともに、自己生成される有機酸の効果により、水熱処理単独の前処理にもかかわらず90%を超える糖化率を達成。産総研は今後、今回開発した技術で得られた糖を用いてエタノール発酵や化成品合成を実施。また経済性を試算してプロセス全体の優位性を検討し、企業連携を通じた早期の実用化を図る【産総研：2019/01/11】

https://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2019/nr20190111/nr20190111.html

■(株)タケエイ(東京)子会社の(株)大仙バイオマスエナジー(秋田県大仙市、昨年11月22日に「秋田グリーン電力(株)」から改称)、1月11日に「大仙バイオマスエナジー協和発電所」の竣工式を実施。2月1日より営業運転開始。同発電所の燃料は、地元の森林業者により集積される森林間伐材を、隣接する(株)門脇木材の子会社「(株)秋田バイオマスチップ」が木材チップに加工して供給。発電能力は一般家庭約15,000世帯の年間消費電力量に相当する7,050kW。発電した電力は、タケエイの100%子会社で小売電気事業者の(株)大仙こまちパワー(同市)にFITを通じて売電し、大仙こまちパワーから地元の公共施設や企業を始め、東北域内の生活協同組合施設などに供給する計画。総投資額約36億円【日本経済新聞：2019/01/11、(株)タケエイ：2019/01/24】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ039931630R10C19A1L01000/?ct=ga>

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2151/tdnet/1664399/00.pdf>

■経産省の調達価格等算定委員会、1月9日に2019年度以降のFITにおける買取価格案を提示。バイオマスは2019年度、一般木材(1万kW以上)とバイオマス液体燃料の全規模を入札によって決定する。入札対象外となる一般木材(1万kW未満)は2018年度の24円/kWhに据え置き。未利用材などその他の区分も、2020年度までの価格を維持。(一社)バイオマス発電事業者協会(東京)や(一社)バイオマス発電協会(同)といった業界団体から要望のあった新規燃料の取り扱いを巡っては、副産物を含め、持続可能性の観点から専門的な議論を深める。総合資源エネルギー調査会の下に会議体を設け、速やかに検討に着手する方針【電気新聞：2019/01/16、経産省：2019/01/09】

<https://www.denkishimbun.com/sp/36686&ct=ga>

http://www.meti.go.jp/shingikai/santei/pdf/044_01_00.pdf

■九州電力グループの九電みらいエナジー(株)(福岡)、福岡県朝倉郡に建設予定の「ふくおか木質バイオマス発電所」及び木質チップ製造工場の起工式を1月17日に実施。同事業では、間伐材等の未利用木材を有効活用する。林業関係者等で組織する「ふくおか木質バイオマス木材安定供給協議会」が木材を供給、中山リサイクル産業(株)(福岡)と九電みらいエナジーが設立した「グリーンパークN&M(株)(同)」が木質チップを製造、九電みらいエナジーが発電所の建設・運営を行う。発電所の出力は5,700kW(発電端)、建設工事の開始は2019年2月、運転開始時期は2020年4月の予定【九電みらいエナジー(株)：2019/01/17】

<https://www.q-mirai.co.jp/news/archives/157>

■政府、2019年1月より佐賀市をモデルにバイオマス地域活用ソフトの開発を開始。バイオマスの最も効率的な活用方法を、地域単位ではじき出すシミュレーションソフトウェアを開発する。政府が進める「戦略的イノベーション創造プログラム」の一環で、産業技術総合研究所をリーダーに、佐賀市のほか、佐賀県と県地域産業支援センターも参加。2022年度までの国

家プロジェクトで、先進的なバイオマス関連施設が整っている佐賀市をモデル都市に、経済性と、環境への影響の両面から評価・予測できるソフトの実現を目指す【佐賀新聞 LIVE：2019/01/20】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/327413>

■東芝エネルギーシステムズ(株)(神奈川)グループ会社の(株)シグマパワー有明(SPAC)(福岡)が、バイオマス発電所の新規建設にあたり、建設予定地の福岡県大牟田市と企業立地協定書を調印。大牟田地域の産業発展や地域経済の振興に貢献し、SPAC および大牟田市の相互の発展を図るとしている。同事業は東芝グループの全社変革計画「東芝 Next プラン」における「再生可能エネルギー発電事業」の一環で、SPAC を通じ、新たにバイオマス発電所を建設することを昨年 11 月に決定していたもの。SPAC は、石炭による発電所であったが石炭とバイオマスの混焼にし、現在はバイオマス専焼発電所となっている三川発電所を大牟田市で運営しており、この隣接地に「大牟田第一・第二発電所」を建設することで事業を拡大する。第一・第二発電所の出力は各 2.2 万 kW。着工予定は 2019 年秋、稼働予定は 2022 年春の予定【東芝エネルギーシステムズ(株)：2019/01/21】

https://www.toshiba-energy.com/info/info2019_0121.htm

■木材加工・販売の(有)スギタニ(山口)が、木材の削りくずを圧縮成型した「mokko(モッコ)」の販売を開始。同社は木材を住宅用などの部材に加工してハウスメーカー、工務店向けに販売しており、その際に出る 13t/年の削りくずの有効利用を検討。ドイツ製の高性能の圧縮機の中古品を購入し、同社事務所のストーブで使ってみて燃料として使用できることが分かり、売り出した。Mokko は直径、高さが 6 cm ほどの円筒形で、薪ストーブの燃料に使え。75 個(12 kg)入りで 600 円。同社の店頭と戸田の道の駅「ソレーネ周南」でも販売する計画【(株)新周南新聞社：2019/01/22】

<http://www.shinshunan.co.jp/info/2019/0122202351.html>

■秋田県信用組合(秋田)らが、「秋田再生可能エネルギーファンド」を設立(1 月 23 日)。県信組と子会社のけんしん元気創生(株)(秋田)、全国信用協同組合連合会(東京)、秋田県信用保証協会(秋田)、フューチャーベンチャーキャピタル子会社の「FVC Tohoku」(岩手)が出資。総額 2 億 1,000 万円で運用期

間は 2026 年 12 月までの 8 年間。バイオマス発電や小水力発電など秋田県北秋田市を中心とする、地域資源を生かした再生エネ事業者に出資して、再生エネのさらなる普及と地域産業の成長を促す【日本経済新聞：2019/01/23】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ04037021023012019L01000/>

■北海道白老町、1 月 22 日開催の廃棄物減量等推進審議会で、町が昨年 11 月に方針を示したバイオマス燃料化施設の事業廃止と施設の民間利用を検討中であることを説明。同施設は昨年 11 月に 2014 年度から停止している高温高圧処理設備が不当などとして交付金約 8,500 万円の返還が求められ、今後も施設を継続して利用するには年間 6,000 万～7,000 万円かかることから今年 3 月末での事業廃止を決定。これに伴い、会計検査院から返還が求められている交付金以外の交付金返還分と起債(借金)の一括償還を合わせ、約 5 億円を一般会計から支出する予定となっている。事業廃止後は 2019 年度中に施設を有効利用するため民間事業者への継承を検討するとともに、最低限の施設管理、保守点検を町が行う。また、同施設に持ち込まれていた燃料ごみ、ペットボトルは 4 月以降も現行通り分別、収集するとしている【苫小牧民報：2019/01/24】

<https://www.tomamin.co.jp/news/area2/15538/>

■兵庫県、平成 30 年度の「ひょうごバイオマス eco モデル」に登録する取り組みを決定し、公表。同モデルは、県内におけるバイオマス(家畜ふん尿、食品残さ、下水汚泥、未利用木材等の生物由来の資源)の利活用を促進するため、先導的なバイオマスの利活用が図られている取組を登録し、広く PR を行うことにより、同様の取組の拡大とバイオマス利活用の意識の醸成を図ることを目的としている。今回登録が決まったのは、「(株)トーヨー養父バイオエネルギー(養父市)」と「(有)箕谷酪農場(弓削牧場)(神戸市北区)」の 2 件。いずれも家畜ふん尿等を利用し、バイオガス発電や発生する消化液の有効利用に取組んでいる。これらを含め、累計で 68 件が登録されている【兵庫県：2019/01/22】

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20190122_1837.html

■(株)タケエイ(東京)子会社の「(株)田村バイオマスエナジー」(福島県田村市)、発電事業予定地で 1 月 15 日に安全祈願祭を行い、建設工事を開始。同発電所では燃料に地域の未利

用間伐材等を利用し、発電能力は一般家庭約 15,620 世帯分に相当する 7,100kW。発電した電力は東北電力（株）（宮城）等に売電する。タケエイグループのバイオマス発電事業では（株）津軽バイオマスエナジー（青森県平川市）、（株）花巻バイオマスエナジー（岩手県花巻市）、2019 年 1 月に竣工したばかりの（株）大仙バイオマスエナジー（秋田県大仙市）、そして今夏運転開始予定の（株）横須賀バイオマスエナジー（神奈川県横須賀市）に続き、5 件目。売電開始は 2020 年夏の予定【（株）タケエイ：2019/01/24】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2151/tdnet/1664400/00.pdf>

■（株）アオスフィールド（新潟）、新潟県の湯沢町で稼働中のコンテナデータセンター（DC）「湯沢 IT コンテナフィールド」に、バイオマス発電設備を導入すると発表。同 DC は、豪雪地帯である湯沢町の雪と河川水（用水）、清涼な空気を組み合わせで活用し、年間を通じて冷熱を発生させることで、空調に必要な購入電力の電気代 90%以上の削減を実現。2018 年 7 月から、既に冷房部分に再エネ 100%を活用した省エネ型データセンターとしては稼働開始しているが、今回農作物の残さから抽出した天然油を精製し、ディーゼル発電機の燃料に使用するバイオマス発電を導入し、サーバーを含む全設備の電力需要を賄う。発電容量は第 1 期で約 2000kVA の予定。また、余剰電力は新電力などに売電する。FIT の利用は検討中。データセンターの利用用途は、仮想通貨マイニング事業などを想定。2019 年度中にすでに稼働しているものも含め、全体でコンテナ DC10 台の設置・稼働を目指す【PRTIMES：2019/01/25、日経 XTECH：2019/01/29】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000041229.html>

<https://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/news/16/012911918/>

■大栄環境ホールディングス（株）（兵庫）、約 250 億円を投じ国内 2 カ所で木質バイオマスと廃棄物を燃料とする発電所を建設へ。静岡県御前崎市と兵庫県三木市のそれぞれに出力 1 万 2,000kW クラスの発電所を建設する。一般的なバイオマス発電は木質燃料のみを使うが、安定調達が難しいため、食品残さなど廃棄物と組み合わせで事業の安定を図る。2023 年までの稼働を計画【日本経済新聞：2019/01/29】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ04058280028012019L61000/>

■環境省、平成 30 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の二次公募における第二回採択を決定し、公表。全 6 件のうち、バイオマス関連のプロジェクトは 2 件。アウラグリーンエナジー（株）（青森）はインドネシア政府系パーム工場と連携し、アブラヤシの残渣で有効活用されずに大量に廃棄されている空果房等を燃料とするバイオマス発電施設（12.5MW）を建設する（想定削減量は 31,322 tCO₂/年）。日本テピア（株）（大阪）は、タイの食用油工場へバイオマスボイラの導入を行う予定（想定削減量は 29,759 tCO₂/年）【環境省：2019/01/29、アウラグリーンエナジー（株）：2019/01/30】

<https://www.env.go.jp/press/106392.html>

<http://a-ge.jp/topics/topic008.php>

■2018 年 7 月に起きた西日本豪雨で堤防決壊の小田川（岡山県）で、河道に生えていた樹木の処分が課題に。樹木は豪雨後に伐採され、民有地などで保管されているが処分方法は決まっていない。小田川の一部を管理する国はバイオマス発電施設での再利用などを模索しているものの、調整が難航中【毎日新聞：2019/01/30】

<https://mainichi.jp/articles/20190130/dtl/k33/040/388000c>

■東北電力（株）（宮城）、再生可能エネルギー事業を拡大へ。風力発電を主軸に、太陽光・水力・地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギー全般について、これまで同社および同社企業グループが培ってきたノウハウを活用しながら新たな開発や事業参画に取り組み、東北・新潟エリアを中心に 200 万 kW の開発を目指す。事業の推進にあたって、経営層をトップとする「再生可能エネルギー事業推進会議」を年度内に立ち上げ、7 月には「再生可能エネルギー事業推進室」を設置し、体制面の強化を図る予定【東北電力（株）：2019/01/30】

<https://www.tohoku->

epco.co.jp/news/normal/1199938_1049.html

■中国国家エネルギー局は 28 日、2018 年の再生可能エネルギーによる発電について統計を発表。発電量は前年比約 1 割増の 1 兆 8,700 億キロワット時（kWh）。発電量全体に占める比率は 26.7%で、前年から 0.2 ポイント上昇。エネルギー源別では、水力が 1 兆 2,000 億 kWh、風力が 3,660 億 kWh、太陽光が 1,775 億 kWh、バイオマスが 906 億 kWh。電源の設備容量につ

いてのエネルギー源別では、水力が3億5,200万kW、風力が1億8,400万kW、太陽光が1億7,400万kW、バイオマスが1,781万kWとなり、いずれのエネルギー源も増加の傾向【NNA ASIA：2019/01/31】

<https://www.nna.jp/news/show/1863930>

■フィンランド技術研究センター（フィンランド、以下「VTT」）がガス化プロセスを利用し、樹皮やおがくずなどの林業廃棄物を輸送用燃料や、液体炭化水素、メタノール、メタンなどに変換する新技術を開発。製油所でさらに加工し、約55%が輸送用燃料に、20%～25%が地域暖房や工業プロセスの蒸気生成に使われる。低圧低温蒸気ガス化技術を使用しているためガス精製が簡素化され、プロセスで発生した熱は年間を通して利用できるのがこの技術の大きな利点。またプラスチックや包装材料のリサイクルをし、合成ガスを作り出すことも可能。ガス化技術の開発はVTTが率いる2つのEU Horizon 2020 プロジェクトを通して継続される。今後は、ガス精製と合成技術の効率化に焦点が当てられるもよう【IDEAS FOR GOOD；2019/01/31】

<https://ideasforgood.jp/2019/01/31/vtt-to-recycle-forest-waste/>

■東洋エンジニアリング（株）（千葉）、国内のバイオマス発電所の建設プロジェクトで年1千億円超の受注を目指す。同社は2018年に国内で初受注して以降、高効率なタービン、ボイラを武器に11月までに計3件を受注。「単年度で4～5件受注できれば売り上げが1千億円を超える」として、今後は実績のある5万kW級を超える高出力機も提案し、受注拡大につなげる【電気新聞：2019/02/04】

<https://www.denkishimbun.com/archives/37284>

■政府、1月28日から始まった第198回国会に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律案」を提出（2月8日）。2017年12月に決まった平成30年度税制改正大綱において、平成31年度から税創設が決まっていたもの。森林環境税の方は、個人住民税の均等割の納税者から国税として年額1,000円/年を上乗せして市町村が徴収。市町村から国の交付税及び譲与税特別会計に入る。森林環境譲与税は、国に一旦集められた税の全額を、間伐などを実施する市町村やそれを支援する都道府県に譲与（配分）する。森林環境税の課税は平成36年度から、森林環境譲与税は課税に先行して平成31年度から開始される。

法律案等は総務省ホームページで公開中【総務省：2019/02/08、林野庁広報誌「林野」No.131：2018/2月】

http://www.soumu.go.jp/menu_hourei/k_houan.html

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/attach/pdf/3002-7.pdf>

■山形県上山市金谷の工業団地にある試運転中のバイオマス発電設備で爆発事故。爆発が起きたのは、間伐材やせん定枝を利用した発電事業を営む「山形バイオマスエネルギー（株）」（山形）の設備。上山署によると試運転を始めた直後、水素タンクのフタとみられる直径約3m、厚さ約1cmの円形の金属板が飛び、南西に約100m離れた民家の2階部分にぶつかったという。衝撃で室内の物が落ち、30代の女性が首に負傷、病院で手当てを受けた。また、周辺の三つの会社の建物で窓ガラスが割れるなどの被害を確認。爆発はタンク内の水素ガスが何らかの原因で引火した可能性があることが、その後の山形県警などへの取材で分かった。山形バイオマスエネルギーは、（株）荒正（山形）と（株）ヤマコー（同）等が2015年に設立。当時の情報では、木質チップを高熱で炭化させた際に出るガスを燃焼させてエンジンを回し、発電する方式の設備で、発電容量は2,000kW/h弱を想定していたもよう。同社は3月末に発電事業を始める予定だった【Yahoo!ニュース、朝日新聞：2019/02/06、河北新報：2019/02/08、バイオマスエネルギーニュース：2015/09/01】

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190206-00010002-sakuranbo-l06>

<https://www.asahi.com/articles/ASM266DNHM26UZHBO12.html>

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201902/20190208_53023.html

<http://biomass-energy-news.net/?p=143>

■福岡県田川市、南国殖産（株）（鹿児島）とバイオマス発電所建設に関する協力協定を締結。基本計画書によると、南国殖産は発電事業のため特別目的会社「田川バイオマスエネルギー」（仮称）を設立。田川市糴（ほしい）地区に林地残材を燃料とする出力1,999kWの発電所を2020年末に稼働させ、廃熱を使った農業にも取り組む計画。総事業費は約41億5,000万円。伐採時に残る切り株や枝葉などの林地残材を使った発電所は国内初【毎日新聞、西日本経済新聞電子版：2019/02/06】

<https://mainichi.jp/articles/20190206/dtl/k40/020/502000c>

<http://qbiz.jp/article/148338/1/>

■岐阜県大垣市の上石津地域で、間伐材の有効利用を目的とした実証実験を官民共同で実施。地元企業の「(株) 森の仲間たち (岐阜)」が、薪ボイラを市役所上石津地域事務所に設置し、その熱を利用して事務所の暖房などに利用するという取り組み。同事務所に薪ボイラが 5,000ℓの水が入る蓄熱タンク 2 台とともに設置されたのは昨年 11 月。温まった水がパイプを通じて事務所内を循環する仕組みで、実験では長時間利用による熱効率を検証している。多くが県外のチップ加工場に売却されていた間伐材の流れを地産地消に切り替えることで、里山の保全とともに地元にお金が循環し、雇用の創出にもつなげていきたい考え。現在、間伐材は地域内に住民団体が設置した木材集積場「木の駅上石津」に持ち込まれ、5,000 円/㎡で地元の商店街などで使える地域通貨と交換できるようになっている【読売新聞：2019/02/06】

<https://www.yomiuri.co.jp/local/gifu/feature/C0006490/20190205-OYTAT50018/>

■(株) sonraku (岡山)、2 月 5 日より電力小売り事業を開始。小売電気事業者の(株) 地方創生テクノロジーラボ(東京)が所有・契約する発電所から送られる電力を、電力会社の送配電ネットワークを通じて供給する。顧客に支払ってもらった電気料金の 1%分を、主に地域のこどもたちのスポーツチームに寄付する考え。まずは中国電力、九州電力管内で供給し、今後は全国展開を目指す【Value Press!：2019/02/06、sonraku でんき】

<https://www.value-press.com/pressrelease/215277>

<http://sonrakudenki.me/>

■日本製紙(東京)、輸入チップの受け入れ先として利用している室蘭港崎守埠頭のチップヤードを廃止。2020 年 1 月から苫小牧港の勇払埠頭に集約する。室蘭港のチップヤードは 1975 年に供用を開始。2017 年度の取扱量は約 74 万 t。ブラジルやチリなどから輸入し、白老事業所に搬入するまでの間一時保管している。設備の老朽化に加え、紙需要の低迷から勇払事業所での洋紙生産撤退後にバイオマス発電所を整備することを決

めており、チップヤードを 1 カ所に集約して原料輸送の効率化を図る。バイオマス発電事業は双日(株)(東京)と共同出資による合併会社が運営する方向で準備中。雄払事業所構内の北西側に広がる約 7ha の敷地を活用し、2020 年 3 月に着工、2022 年営業運転開始を目指す【苫小牧民報：2019/02/06】

<https://www.tomamin.co.jp/news/main/15621/>

■2050 年をめどに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げる神奈川県横浜市が、再生可能エネルギーの普及に力を入れている青森、岩手、福島各県の 12 市町村と連携協定を締結(2 月 6 日)。2011 年 3 月の東京電力福島第一原発事故後、東北地方で太陽光や風力、バイオマスによる発電の普及が進み、12 市町村の潜在的な再生可能エネルギーの総発電量は、横浜市の消費電力の 4 倍に上るとの国の推計もある。今後、横浜市の家庭や企業が電力の供給を大量に受けるには送電網の拡充が不可欠で、各市町村は足並みをそろえて国に要望する。電力供給が始まる時期や量の見通しは未定。横浜市は 12 市町村と協力し、目標達成を目指す【東京新聞：2019/02/07】

<http://www.tokyo->

[np.co.jp/article/kanagawa/list/201902/CK2019020702000129.html](http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/list/201902/CK2019020702000129.html)

■電源開発(株)(東京、以下「J パワー」)が、バイオリファイナリー技術の研究・開発を行う Green Earth Institute(株)(東京、以下「GEI 社」)に対し、同社の実施する第三者割当増資を引き受け、出資したと発表。GEI 社はバイオマスの中で食料や飼料と競合しない「カーボンニュートラル」なバイオ燃料等を作る企業。J パワーは今回の出資により、GEI 社が有する再生可能資源有効利用の分野における先端技術や革新的なアイデア、新たな事業モデルなどと、当社が発電事業などで培ってきた技術やノウハウを融合し、新たな事業分野の創出を目指す【日本経済新聞：2019/02/08】

https://www.nikkei.com/article/DGXLRSF502317_Y9A200C1000000/

2. ペレット関連情報

■農林中央金庫岡山支店（岡山）が、山口県内の3施設にペレットストーブを寄贈。同支店は平成18年度から「木質ペレットストーブ寄贈事業」を実施。平成30年度は周南市の「ふれあいの森なんでも工房」、阿武町の「阿武町高齢者福祉複合施設いらお苑」、長門市の「仙崎地区交流拠点施設道の駅センザキッチン」への寄贈を決定。2018年12月14日に寄贈式を開催し、県産のスギ・ヒノキ間伐材や未利用材からペレット燃料を製造している山口県森林組合連合会（山口）の代表理事専務も出席した【山口県：2018/12/7、毎日新聞：2019/01/11】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/201812/042235.html>

<https://mainichi.jp/articles/20190111/ddl/k35/040/426000c>

■エア・ウォーター（株）（大阪）と中国電力（株）（広島）の共同出資会社であるエア・ウォーター&エネルギー・パワー小名浜（株）が、1月11日に「小名浜バイオマス発電所」の建設工事に着工したと発表。同発電所は福島県いわき市小名浜にあるエア・ウォーターのグループ会社の（株）日本海水小名浜工場内に建設。JFEエンジニアリング製の循環流動層ボイラ（CFB）を採用。発電出力は75,000kW（発電端）。発電した電力はFITを通じて東北電力に売電する予定。使用燃料はPKSや木質ペレットで東南アジアや北米から小名浜港に輸入する見込み。2021年4月運開予定【エア・ウォーター（株）：2019/01/11、福島民友：2019/01/14、メガソーラービジネス：2019/01/17】

<http://www.awi.co.jp/common/uploads/2019/01/abdf095626d4a4ab2bcd4167b128c1f1.pdf>

<http://www.minyu-net.com/news/news/FM20190114-341906.php>

<https://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/news/16/011711880/?ST=msb>

■（株）ウィンド・スマイル（東京）、現地法人より株式買収したベトナムのペレット生産工場をリニューアルし、1月15日本格操業をスタート。直接事業を運営するのは同社現地子会社のWSドンナイ社で、工場立地はベトナム南部のドンナイ省ダウザイ工業団地。主な原料はユーカリで5～6万t/年の木質ペレット生産が可能。木質ペレットは森林認証付きでバイオマス発電事業用。想定される向け先は日本・韓国等【OSR No.355：2019/01/16、（株）ウィンド・スマイル】

<http://www.wind-smile.com/biomass/fuel.html>

■東京電力フュエル&パワー（F&P）（東京）、茨城県那珂郡東海村にある常陸那珂火力発電所（石炭、100万kW×2基）で燃料費の削減に向け、複数炭種と木質バイオマス燃料を混焼し、知見を蓄積。同発電所は東日本大震災以降、新規炭の導入を加速。2017年には木質ペレットとの混焼を開始し、3炭種と木質ペレットの混焼を行った実績もある。今後も新規炭の導入と複数炭種の混焼を通じて、燃料調達が多様化に貢献する構え【電気新聞：2019/01/17】

<https://www.denkishimbun.com/archives/36699>

■富山県富山市と富山シティエフエムが、1月20日に富山駅で「駅ナカ de ウォームシェア！」を開催。ウォームシェアは皆が1つの場所に集まり時間を過ごす事で、暖房等のエネルギー消費を減らす、地球温暖化対策の取組の1つ。地球温暖化対策に積極的に取り組む「クールチョイス（賢い選択）」を推進する事業の一環として、富山市が昨年に続き開催。当日は県産の間伐材を使ったペレットを燃料にしたストーブの実演展示があり、温めた甘酒の振る舞いや焼きマッシュマロ体験も行われた【北日本新聞社：2019/01/20、チームとやまし：2019/01/09】

<http://webun.jp/item/7430751>

<http://www.team-toyama.jp/news/post-1591.html>

■NPO法人みんなの森プロジェクト（佐賀県佐賀市富士町）が、里山資源の活用研究を目的として「里山デザインセンター」を立ち上げ、ストーブの燃料となる木質ペレット製造に取組み中。代表の吉村剛さんが4年ほど前、展示会でペレットストーブに興味を持ったことがきっかけ。工場の建物は地元のJAに、原材料は森林組合に協力を得た。実際に作り始めてみると、木の種類と機械の相性が悪かったり水分量が多すぎたりでなかなか思うような品質のものができず、悪戦苦闘。昨年やっと商品化のめどが立ち、10月から販売開始。当面の課題は生産ラインを効率化して増産を図り、将来的には猫砂など他用途も研究していく予定【佐賀新聞LiVE：2019/01/23】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/328470>

■国土交通省、「今後の住宅・建築物の省エネルギー対策のあり

方について（第二次報告案）」に関する意見募集の結果について公表（1月25日）。エネルギー需給構造の安定化と地球温暖化対策の両面から、新築住宅・建築物について2020年までに段階的に省エネルギー基準への適合を義務化することが予定されていたが、今回出された報告案では現行の大規模建築物以外に中規模建築物を義務化するととどまり、住宅・小規模建築物への義務化は見送る内容に。これに対し、2014年より4年間、国交省・経産省による「住宅省エネシステム検討委員会」のワーキンググループ等に参加し、家庭用の省エネ機器としてペレットストーブが評価されるよう作業してきたペレットクラブがパブリックコメントを提出。国内ストーブメーカーおよび販売事業者で組織されている日本ペレットストーブ工業会からも提出し、住宅・小規模建築物も義務化に含めること、さらにペレットストーブなどの未評価技術の評価をよう求めた。本パブリックコメントは昨年12月7日～1月5日まで実施。593の個人・団体から902件の意見数が集まった。詳細は下記サイトを参照【e-GOV：2019/01/25】

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155180734&Mode=2>

■高知県、県内における木質バイオマスエネルギー利用の取り組みについて、データを公表。ペレット需要量では平成27年度以降、県内産ペレットの需要量が県外産を上回り、平成29年度末時点では県内産ペレット5,799tに対し県外産ペレットが1,607tで、県内自給率は78.3%に。一方でバイオマスボイラ導入台数は昨年度より1台増加（累計276台）するに留まっている。「高知県内の木質バイオマスボイラー導入効果試算」では、重油換算（削減量）6,510kL/年で燃料代の域外流出抑止額は約5.2億円/年に上り、CO₂削減量は17,642t-CO₂/年（約9,700万円/年CO₂）とする試算結果も公表。県では木質バイオマスの利用拡大に向け、○木質ペレット等の安定供給の促進、○幅広い分野での木質バイオマスボイラー導入の拡大、○木質バイオマス発電の促進、に今後も取り組むとしている【高知県：2019/01/25】

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019012300099.htm>！

■東京ガス（株）（東京）、九州電力（株）（福岡）出光興産（株）の3社が、千葉県袖ヶ浦市にある出光興産所有地で計画してい

た出力200万kWの石炭火力発電所の計画を断念すると発表（1月31日）。三社は2015年5月に「（株）千葉袖ヶ浦エナジー」を設立。約3,000億円を投じて2020年代半ばの稼働を目指してきた。2016年の省エネルギーの規制強化で発電効率を高める必要が発生し、石炭にバイオマスを混ぜて発電することで達成しようとしたが「設備費用の増加や木質ペレットの調達価格の上昇でコストが増えた」（東ガス）。東ガスと九電は燃料を液化天然ガス（LNG）に転換して新設を目指す【日本経済新聞、東京ガス（株）：2019/01/31】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO40731570R30C19A1TJ2000/>

<https://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20190131-02.html>

■関西電力（株）（大阪）、山形県酒田市で検討を進めていたバイオマス発電事業について、十分な事業性が見込めないと判断し、検討中止を発表。関西電力は山形県環境影響評価条例に基づき、環境影響の調査・予測・評価方法等をまとめた「（仮称）酒田北港バイオマス発電事業に係る環境影響評価方法書」およびその要約書を2017年7月3日に山形県知事、酒田市長に提出。建設予定地は山形県酒田市宮海南浜（酒田臨海工業団地）で、出力は約75,000kW。燃料はPKS、木質ペレット等海外バイオマス燃料を想定していた。関西電力グループの現在の再生可能エネルギー導入状況は、運転開始（竣工済）と現在取組中の案件を合わせて330,554kW。関西電力は今後も引き続きグループ体となって、2030年までに50万kW程度の再生可能エネルギーの開発を目指すとしている【2019/02/01】

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2019/0201_1j.html

■出光興産（株）（東京）、ブラックペレット（トレファイドペレット）の調達先を多様化へ。2020年春にも年産能力10万t規模で事業化するタイでの合弁生産に先立ち、インドネシアのブラックペレットメーカーと日本市場における独占販売権を取得することで合意【日刊工業新聞：2019/02/07】

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00505412>

■木質ペレットを製造・販売している兵庫県豊岡市城崎町の建築業「川中建築」が、アウトドア向けグリルコンロ「ペレ炉」を製作。ペレ炉は鉄製で一辺が約30cmある立方体の本体に、ペレットを燃やす燃焼筒や煙突を取り付けて使う。石製の「ピザストーン」という台を中に置き、料理を載せて加熱する。ピ

ザストーンを設置する高さによって、調理温度を約200～500℃に調節できる。川中建築は建築業の傍ら、5年前から木質ペレットの自社製造を開始。取引先等から仕入れた製材端材が原料で、商品名は「ジオラムペレット」。販売量は徐々に伸びているが、ペレットストーブの価格は一般的な暖房器具と比べると高額で、認知度も低いのが現状。そこで近年人気が高まっているアウトドアに着目し、開発につなげた。アウトドアでの利用が前提のため、約20kgと運搬可能な重さになっている。小型炉のため約30分で準備でき、ピザなら焼き上がるまで約2分と早い。立方体のため500℃近くなる天板の上は、目玉焼きなど

別の調理にも使える。1台9万円弱となる見込み。同じ燃焼筒が使えるたこ焼き用や、直径45cmの鍋が置けるコンロの開発も進めている【神戸新聞NEXT：2019/02/12、川中建築】

<https://www.kobe->

<np.co.jp/news/sougou/201902/0012058888.shtml>

<https://kawanakakentiku.jimdo.com/%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%AD-%E9%96%8B%E7%99%BA%E4%B8%AD/>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌
「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◆リードエグジビジョンジャパン（株）「スマートエネルギー Week 2019」

月日 2019年2月27日（水）～3月1日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<http://www.reedexpo.co.jp/ja/Expo/207372/Week>

◎リードエグジビジョンジャパン（株）「第4回 国際バイオマス発電展」

月日 2019年2月27日（水）～3月1日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<http://www.reedexpo.co.jp/ja/Expo/1166848>

■リードエグジビジョンジャパン（株）「第2回 地方創生 EXPO」

月日 2019年2月27日（水）～3月1日（金）

場所 幕張メッセ（4-7ホール）（千葉県千葉市）

<https://www.sousei-expo.jp/>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会「平成30年度 林野庁補助事業（「地域内エコシステム」構築事業関連）の成果報告会」

月日 2019年2月27日（水）～3月1日（金）

場所 東京ビッグサイト東8ホール（東京都江東区）

<https://www.jwba.or.jp/2019/01/17/%E3%82%A4%E3%83%99>

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/201902/0012058888.shtml>
<https://kawanakakentiku.jimdo.com/%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%AD-%E9%96%8B%E7%99%BA%E4%B8%AD/>

◆（公財）国際緑化推進センターセミナー「森林ビジネスの可能性」

月日 2019年2月28日（木）

場所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンターホール5C（東京都新宿区）

<https://jifpro.or.jp/infomation/2427/>

■花粉問題対策事業者協議会セミナー「～花粉飛散の最盛期に花粉・アレルギー問題を考える～『花粉アレルギー疾患に対する取り組みと2019年花粉シーズンの対策・最新情報』」

月日 2019年3月1日（金）

場所 秋葉原UDX4階 GALLERY TYPE N（東京都千代田区）

<https://www.kafunbusiness.org/news/472>

■富士山環境展実行委員会「富士山環境展8」

月日 2019年3月2日（土）～24日（日）

場所 富士宮市富士山環境交流プラザ（静岡県富士宮市）
<https://ja-jp.facebook.com/pages/category/Event/%E5%AF%8C%E5%A3%AB%E5%B1%B1%E7%92%B0%E5%A2%83%E5%B1%95-340236546182109/>

■林野庁シンポジウム「早生樹・エリートツリーの現状と未来～その可能性と課題を探る～」
月日 2019年3月4日（月）
場所 東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区）
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/seibi/190204.html>

■モノづくり日本会議/日刊工業新聞社「第24回新産業技術促進検討会『NEDO 未利用熱エネルギーシンポジウムー蓄熱・熱輸送を中心とした熱マネジメント技術の最新動向ー』」
月日 2019年3月4日（月）
場所 東京コンファレンスセンター・品川 5F 大ホール A・B（東京都港区）
https://www.nedo.go.jp/events/DA_100102.html

■（一財）環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）公募説明会」
月日 2019年3月4日（月）
場所 TKP ガーデンシティ仙台 ホール 30B（宮城県仙台市）
http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■（一財）環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）公募説明会」
月日 2019年3月5日（火）
場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋ルーセントタワー 会議室 J+K（愛知県名古屋市）
http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■（一財）環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等

導入推進事業）公募説明会」
月日 2019年3月6日（水）
場所 TKP ガーデンシティ TKP 大阪本町カンファレンスセンター ホール 3A（大阪府大阪市）
http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

◎さが森林づくり活動支援センター「こだまの森林づくりシンポジウム『森林活用ビジネスの可能性』」
月日 2019年3月6日（水）
場所 佐賀県林業試験場（佐賀県佐賀市）
<http://forest.minnanomori.jp/event/event-2436>

■（公財）自然エネルギー財団 国際シンポジウム「REvision2019：自然エネルギー革命」
月日 2019年3月6日（水）
場所 イイノホール（東京都千代田区）
<https://www.renewable-ei.org/activities/events/20190306.php>

■メコン・ウォッチ【報告会】「東北タイにおけるバガス燃料バイオマス発電所建設事業の環境社会影響」
月日 2019年3月6日（水）
場所 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)（東京都渋谷区）
<http://www.mekongwatch.org/>

■（一財）環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）公募説明会」
月日 2019年3月7日（木）
場所 TKP 札幌駅カンファレンスセンターカンファレンスルーム 3A（北海道札幌市）
http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■岩手・木質バイオマス研究会「第13回定例セミナー『地方都市における薪流通の実態と供給主体の経営に関する研究ー岩手県盛岡市を中心としてー』」
月日 2019年3月8日（金）
場所 アイーナ7階 県立大学アイーナキャンパス学習室4（岩手県盛岡市）

<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

■国際森林デー2019 中央行事実行委員会「国際森林デー2019 緑の地球を未来へ ～次代へつなぐ森林と木の文化～」

月日 2019年3月11日(月)

場所 木材・合板博物館(東京都江東区)

<https://www.shinrinbunka.com/news/kokusaishinrinday/18144.html>

■(一財)環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)公募説明会」

月日 2019年3月11日(月)

場所 TKP ガーデンシティ ネストホテル熊本 あそ(熊本県熊本市)

http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■環境省「森里川海からはじめる地域づくりシンポジウム～『地域循環共生圏』の創造に向けて～」

月日 2019年3月12日(火)

場所 損保会館 2F 大会議室(東京都千代田区)

<http://www.env.go.jp/press/106467.html>

■NEDO、他「ADEME-NEDO 合同ワークショップ」(テーマ: バイオエコノミー)

月日 2019年3月12日(火)

場所 東京ビッグサイト会議棟 703 会議室(東京都江東区)

https://www.nedo.go.jp/events/AT09_100063.html

■(一財)環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)公募説明会」

月日 2019年3月12日(火)

場所 岡山コンベンションセンター コンベンションホール西(岡山県岡山市)

http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■日報ビジネス(株)「2019NEW 環境展」

月日 2019年3月12日(火)～15日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<http://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

■日報ビジネス(株)「2019 地球温暖化防止展」,「STOP 地球温暖化! 推進フォーラム」

月日 2019年3月12日(火)～15日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.nippo.co.jp/stop-ondanka19/>

■日報ビジネス(株)「STOP 地球温暖化! 推進フォーラム」

月日 2019年3月12日(火)～15日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<http://www.nippo.co.jp/stop-ondanka19/forum.htm>

■(一財)環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)公募説明会」

月日 2019年3月13日(水)

場所 TCB ホール・会議室 会議室 501(香川県高松市)

http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■地球・人間環境フォーラム国際セミナー「森林減少ゼロとSDGsーグローバル新基準を学ぶ」

月日 2019年3月14日(木)

場所 東京ウィメンズプラザ・第一会議室(東京都渋谷区)

<https://www.gef.or.jp/news/info/190314zerodeforestationseminar/>

■認定NPO法人環境エネルギー政策研究所「第4世代地域熱供給(4DH)シンポジウム」

月日 2019年3月14日(木)

場所 憲政記念館講堂(東京都千代田区)

<https://www.isep.or.jp/event/11526>

■(一財)環境イノベーション情報機構「平成30年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域の防災・減

災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等
導入推進事業」公募説明会」

月日 2019年3月14日(木)

場所 フクラシア東京ステーション 会議室H (東京都千代田区)
http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0221_hs.html

■(一社)日本木材学会「第69回日本木材学会大会(函館大会)」

月日 2019年3月14日(木)~16日(土)

場所 函館アリーナ(北海道函館市)
<http://www.jwrs.org/wood2019/index.html>

■林野庁「第17回聞き書き甲子園フォーラム」

月日 2019年3月16日(土)

場所 木材会館7階檜ホール(東京都江東区)
http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/190131_16.html

◎(株)森のエネルギー研究所「林野庁補助事業平成30年度『地域内エコシステム』サポート事業のうち熱電併給及び電気の自家利用等実態調査支援成果報告会」

月日 2019年3月19日(火)

場所 AP新橋4階会議室D(東京都港区)
<http://www.mori-energy.jp/2019/02/12/biomass-chp/>

■産経新聞社「森林ビジネスイノベーション・フォーラム」

月日 2019年3月20日(水)

場所 大手町サンケイプラザ(東京都千代田区)
https://id.sankei.jp/e/536?_ga=2.24971130.1360602852.1551164300-1490159031.1551164300

■滋賀県「しが地域エネルギーコンソーシアム・フォーラム『SDGs×エネルギー～持続可能な未来に向けた地域デザイン～』」

月日 2019年3月20日(水)

場所 ピアザ淡海大会議室(滋賀県大津市)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/f/hodo/e-shinbun/20190128.html>

■地球・人間環境フォーラム「第36回フェアウッド研究部会」

月日 2019年3月20日(水)

場所 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)(東京都渋谷区)
<https://www.fairwood.jp/consultation/kenkyu.html>

■(一社)日本森林学会「第130回日本森林学会大会」

月日: 2019年3月20日(水)~23日(土)

場所: 新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」(新潟県新潟市)
<https://www.forestry.jp/>

■京都大学再生可能エネルギー経済学講座、他「京都大学再生可能エネルギー経済学講座と太陽光発電協会による共催シンポジウム」

月日 2019年3月20日(水)

場所 京都大学吉田キャンパス本部構内国際科学イノベーション棟5Fシンポジウムホール(京都府京都市左京区)
http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/event/sympo2018-2

■京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座シンポジウム「第2期再生可能エネルギー経済学講座」

月日 2019年3月21日(木)

場所 京都大学医学部創立百周年記念施設芝蘭会館稲盛ホール(京都府京都市左京区)
<https://cscenter.co.jp/kick-off/>

■国際森林デー2019 中央行事実行委員会「国際森林デー2019 みどりの地球を未来へ～次代へつなぐ森林と木の文化～」

月日 2019年3月23日(土)

場所 木材・合板博物館(東京都江東区)
http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/190201.html

■NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク第181回研究会「産業用バイオマス熱利用の事例～バイオマスドライヤーによる木質ボード製造と熱電併給～(仮題)」

月日 2019年3月28日(木)

場所 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)(東京都渋谷区)

谷区)

<http://www.npobin.net/apply/>

■ウータン・森と生活を考える会「村の青年団が語る！ボルネオ島の火災最前線とこれからの森づくり in 大阪」

月日 2019年3月31日(日)

場所 ドーンセンターセミナー室1(大阪府大阪市)

http://hutangroup.org/?ai1ec_event=%E6%9D%91%E3%81%AE%E9%9D%92%E5%B9%B4%E3%81%9F%E3%81%A1%E3%81%8C%E8%AA%9E%E3%82%8B%EF%BC%81%E3%83%9C%E3%83%AB%E3%83%8D%E3%82%AA%E5%B3%B6%E3%81%AE%E7%81%AB%E7%81%BD%E6%9C%80%E5%89%8D%E7%B7%9A%E3%81%A8&instance_id=12

■ウータン・森と生活を考える会「村人が語る！ボルネオ島の火災最前線とこれからの森づくり～村の青年団と日本の学生との交流を通して」

月日 2019年4月7日(日)

場所 JICA 地球ひろば2階国際会議場(東京都新宿区)

http://hutangroup.org/?ai1ec_event=%E6%9D%91%E4%BA%BA%E3%81%8C%E8%AA%9E%E3%82%8B%EF%BC%81%E3%83%9C%E3%83%AB%E3%83%8D%E3%82%AA%E5%B3%B6%E3%81%AE%E7%81%AB%E7%81%BD%E6%9C%80%E5%89%8D%E7%B7%9A%E3%81%A8%E3%81%93%E3%82%8C%E3%81%8B%E3%82%89&instance_id=14

■みどりの感謝祭運営委員会「みどりとふれあうフェスティバル」

月日 2019年5月11日(土)～12日(日)

場所 東京都立日比谷公園にれの木広場等(東京都千代田区)

<http://midorinokanshasai.com/index.html>

■農水省「気候変動に対応する農業技術国際シンポジウム『地球規模で考える気候変動と農山漁村』」

月日 2019年5月13日(月)～15日(水)

場所 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール(滋賀県大津市)

http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/190222_8.html

©10th Biomass Pellets Trade & Power

月日 2019年5月13日(月)～16日(木)

場所 東京マリオットホテル(東京都品川区)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190501&>

■岩手・木質バイオマス研究会第14回定例セミナー「日本とオーストラリアにおける林業と木質バイオマス利用」

月日 2019年5月24日(金)

場所 アイーナ7階 県立大学アイーナキャンパス学習室4(岩手県盛岡市)

<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

■バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ2019」

月日 2019年6月5日(水)～6月7日(金)

場所 東京ビッグサイト青海展示棟(東京都江東区)

<https://www.biomassexpo.info/expo/>

■バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ2019九州」

月日 2019年6月26日(水)～27日(木)

場所 マリンメッセ福岡(福岡県福岡市)

<https://www.biomassexpo.info/>

■第14回再生可能エネルギー世界展示会(RE2019)

月日 2019年7月10日(水)～7月12日(金)

場所 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

<http://www.renewableenergy.jp/>

◎バイオマスエキスポ実行委員会

・「次世代森林産業展2019 FORESTRISE 2019 Innovative & Integrative Woods Industries」

・「バイオマスエキスポ2019 Nagano」

月日 2019年8月1日(木)～8月3日(土)

場所 ビッグハット/若里ホール(長野県長野市)

<http://www.forestrise.jp/>

◎リードエグジビションジャパン(株)「国際バイオマス展(関西展)」

月日 2019年9月25日(水)～27日(金)

場所 インテックス大阪（大阪府大阪市住之江区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展/ウッドエコ
テック 2019」

月日 2019年10月3日（木）～6日（日）

場所 ポートメッセなごや「名古屋市国際展示場」（愛知県名古屋
市）

<https://mokkiten.com/>

■日本経済新聞社文化事業局イベント事業部「エコプロ
2019」

月日 2019年12月5日（木）～7日（土）

場所 東京ビッグサイト西・南ホール（東京都江東区）

<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大
会（ISAP2020）」

月日 2020年4月20日（月）～24日（金）

場所 幕張メッセ（千葉県千葉市）

<http://v4.eir->

[parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880)

■日報ビジネス（株）「2020 地球温暖化防止展」

月日 2020年4月22日（水）～24日（金）

場所 インテックス大阪（大阪府）

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

4. イベント情報（海外）

◆Argus Biomass to Power Day

月日 2019年3月5日（火）

場所 シンガポール（シンガポール）

[https://www.argusmedia.com/conferences-events-
listing/biomass-to-power-day](https://www.argusmedia.com/conferences-events-listing/biomass-to-power-day)

◆Argus Biomass

月日 2019年3月6日（水）～7日（木）

場所 シンガポール（シンガポール）

[https://www.argusmedia.com/conferences-events-
listing/biomass-asia](https://www.argusmedia.com/conferences-events-listing/biomass-asia)

◆ISH 2019

月日 2019年3月11日（月）～15日（金）

場所 フランクフルト（ドイツ）

<https://ish.messefrankfurt.com/frankfurt/en.html>

◆Dubai Wood Show

月日 2019年3月12日（火）～14日（木）

場所 ドバイ（アラブ首長国連邦）

<http://www.dubaiwoodshow.com/>

◆Gasification 2019

月日 2019年3月13日（水）～14日（木）

場所 ブリュッセル（ベルギー）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

◆Sweet 2019 - Solar, Wind & Earth Energy Trade Fair

月日 2019年3月13日（水）～3月15日（金）

場所 光州（韓国）

<https://www.sweet.or.kr/fairDash.do>

◆Las-Expo Kielce

月日 2019年3月15日（金）～17日（日）

場所 キェルツェ（ポーランド）

<https://www.tradefairdates.com/Las-Expo-M4201/Kielce.html>

◆2019 International Biomass Conference & Expo

月日 2019年3月18日（月）～20日（水）

場所 ジョージア州サバンナ（USA）

<http://biomassmagazine.com/events/browse/>

◆Value of Biogas 2019 EAST

月日 2019年3月21日（木）～22日（金）

場所 オンタリオ州トロント（カナダ）

<http://www.biogasassociation.ca/vob2019%20>

◆FORST live

月日 2019年3月29日(金)～31日(日)

場所 オフエンブルク(ドイツ)

<https://www.forst-live.de/en/forst-live-en>

◆WORLD BIO MARKETS

月日 2019年4月1日(月)～3日(水)

場所 アムステルダム(オランダ)

<https://www.biobasedworldnews.com/events/world-bio-markets>

◆International Green Energy Expo & Conference 2019

月日 2019年4月3日(水)～5日(金)

場所 Exhibition Hall, EXCO(韓国)

<http://www.energyexpo.co.kr/eng/>

◆Argus Biomass 2019

月日 2019年4月8日(月)～10日(水)

場所 ロンドン(UK)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biomass>

◆9th European Algae Industry Summit

月日 2019年4月10日(水)～11日(木)

場所 リスボン(ポルトガル)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

◆RoEnergy

月日 2019年4月10日(水)～12日(金)

場所 ブカレスト(ルーマニア)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/roenergy/>

◆第20回中国環境博覧会 IE expo 2019

月日 2019年4月15日(月)～17日(水)

場所 上海新国際博覧センター(中国)

<http://jcesc.com/ieexpo2019/>

◆Energy Efficieney & Renewables – 15th South-East European

Exhibition and Conference

月日 2019年4月16日(火)～18日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/ee-re-exhibition>

◆Waste EXPO

月日 2019年5月6日(月)～9日(木)

場所 ネバダ州ラスベガス(USA)

<https://www.wasteexpo.com/en/home.html>

◆6th Africa Oil Palm & Rubber Summit

月日 2019年5月8日(水)～9日(木)

場所 アビジャン(コートジボアール)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190512&>

◆ALL-ENERGY EXHIBITION AND CONFERENCE 2019

月日 2019年5月15日(水)～16日(木)

場所 グラスゴー(UK)

<http://www.all-energy.co.uk/>

◆ENVEX 2019 The 41st International Exhibition on Environmental Technology & Green Energy

月日 2019年5月15日(水)～17日(金)

場所 ソウル(韓国)

<http://www.envex.or.kr/kor/main/index.asp>

◆FORLENER

月日 2019年5月17日(金)～19日(日)

場所 エルバ(イタリア)

<http://www.forlener.it/default.aspx?idC=186>

◆6th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2019

月日 2019年5月20日(月)～21日(火)

場所 マルメ(スウェーデン)

<http://regatec.org/>

◆EUBCE 2019

月日 2019年5月27日(月)～30日(木)

場所 リスボン(ポルトガル)

<http://www.eubce.com/>

◆LIGNA 2019

月日 2019年5月27日(月)～31日(金)

場所 ハノーバー(ドイツ)

<http://www.ligna.de/home>

◆Asean Sustainable Energy Week 2019

月日 2019年6月5日(水)～8日(土)

場所 バンコク(タイ)

<http://www.asew-expo.com/>

◆SkogsElmia

月日 2019年6月6日(木)～8日(土)

場所 ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/SkogsElmia/>

◆35th Annual International Fuel Ethanol Workshop & Expo

月日 2019年6月10日(月)～12日(水)

場所 インディアナ州インディアナポリス(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◎VICTAM INTERNATIONAL 2019

月日 2019年6月12日(水)～14日(金)

場所 ケルン(ドイツ)

<https://victaminternational.com/>

◆ASTURFORESTA

月日 2019年6月20日(木)～22日(土)

場所 ティネオ(スペイン)

<http://en.asturforesta.es/>

◆11th ASIA Sustainable Oil Palm Summit

月日 2019年7月2日(火)～3日(水)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190717&>

◆25. Internationale Forstmesse

月日 2019年8月15日(木)～18日(日)

場所 ルツェルン(スイス)

<http://www.forstmesse.com/htm/home.htm>

◆POWERGEN Asia Conference & Exhibition

月日 2019年9月3日(火)～5日(木)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<https://www.powergenasia.com/en/index.html>

◆Forest Romania 2019

月日 2019年9月5日(木)～7日(土)

場所 ジジ(ルーマニア)

<http://www.forestromania.com/en/>

◆Advanced Biofuels Conference

月日 2019年9月17日(火)～19日(木)

場所 スtockホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2/>

◆EXPOBIOMASA 2019

月日 2019年9月24日(火)～26日(木)

場所 バリャドリッド(スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/>

◆EFE 2019 - 3rd Trade Fair for Energy Efficiency in Industry

月日 2019年10月2日(水)～3日(木)

場所 クラクフ(ポーランド)

<http://www.efe.krakow.pl/gb/>

◆Austrofoma 2019

月日 2019年10月8日(火)～10日(木)

場所 エステルハーギー・フォルヒテンシュタイン(オーストリア)

<http://www.austrofoma.at/en/allgemeine-infos.html>

◆Progress in Biomethane Mobility

月日 2019年10月15日(火)～17日(木)

場所 シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/conference-biomethane-mobility-oct2019>

◎Biomass Brno

月日 2020 年 3 月 31 日（火）～4 月 4 日（土）

場所 ブルノ（チェコ共和国）

<https://www.bvv.cz/en/biomass/>

◆KWF Tagung 2020

月日 2020 年 7 月 1 日（水）～4 日（土）

場所 ヘッセン州シュヴァルツェンボルン（ドイツ）

<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

◆Elmia Wood

月日 2021 年 6 月 2 日（水）～5 日（土）

場所 ヨンショーピン（スウェーデン）

<https://www.elmia.se/wood/>

5. 公募等情報（締切順）

◇NEDO 「2019 年度『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』（旧：ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業）に係る公募について」

公募期間 2019 年 2 月 4 日～2019 年 3 月 5 日

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100194.html

◇兵庫県宍粟市「平成 30 年度：木質バイオマス燃料製造設備補助金」

受付期間 2018 年 4 月 2 日（月）～2019 年 3 月 14 日（木）

<http://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyorisaiiku/1515747829708.html>

◇長野県 平成 30 年度「1 村 1 自然エネルギープロジェクト」の登録募集

募集期間 三次募集：2018 年 12 月 3 日（月）～2019 年 3 月 15 日（金）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/boshutoroku.html>

◇経産省資源エネルギー庁「事業計画策定ガイドライン改正案に関する意見公募」

意見募集期間 2019 年 2 月 15 日（金）～3 月 16 日（土）

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620219002&Mode=3>

◇東京都「地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業」

申請期間 2018 年 5 月 7 日（月）～2019 年 3 月 29 日（金）

<https://www.tokyo-co2down.jp/page.jsp?id=9304>

◇公益信託地球環境日本基金「2019 年度募集開始」

申請締切 ～2019 年 3 月 29 日（金）

<https://www.gef.or.jp/news/info/2019kouekisintaku/>

◇経産省資源エネルギー庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制（再生可能エネルギー部分）」

適用期限 2018 年 6 月 20 日（水）～2019 年 3 月 31 日（日）

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/new/information/180404a/index.html

※対象設備に対する特別償却 20%の税制優遇

◇（公社）国土緑化推進機構 2019 年度「緑の募金」公募事業

応募期間 2019 年 2 月 15 日（金）～3 月 31 日（日）

<http://www.green.or.jp/bokin/>

◇（公社）国土緑化推進機構 2019 年度「緑と水の森林ファンド」公募事業

応募期間 2019 年 2 月 15 日（金）～3 月 31 日（日）

<http://www.midori-joho.gr.jp/archives/3265>

◇兵庫県「平成 31 年度地域創生！再エネ発掘プロジェクトの募集について」

○再生可能エネルギー補助事業

募集期間 (1)立ち上げ時取組支援事業、(2)基本調査等補助事

業とも 2019 年 3 月 14 日（木）～7 月 19 日（金）

○設備導入無利子貸付事業

募集期間 2019 年 3 月 14 日（木）～7 月 19 日（金）

<http://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/warming/%E8%9E%8D%E8%B3%87%E3%83%BB%E5%8A%A9%E6%88%90/tiikisaiene/>

◇林野庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制」

適用期間 2018 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

<https://www.jwba.or.jp/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8-1/%E7%9C%81%E3%82%A8%E3%83%8D%E5%86%8D%E3%82%A8%E3%83%8D%E9%AB%98%E5%BA%A6%E5%8C%96%E4%BF%83%E9%80%B2%E7%A8%8E%E5%88%B6/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

計画認定申請期間 2015 年 10 月 1 日（木）～2021 年 3 月 31 日（水）

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014 年度～2023 年度までの 10 年間

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇熊本県熊本市「平成 30 年度熊本市省エネルギー機器等導入推進事業補助金」

http://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=19867&class_set_id=2&class_id=65

◇高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

◇新潟県柏崎市「柏崎市 ECO2 プロジェクト」

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/kankyoseisaku/machi/kankyo/eco2/ondanka.html>

◇山形県「木質バイオマス発電施設整備支援事業費補助金」

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050016/biomass.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syoutene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

◇資源エネルギー庁「グリーン投資減税」

http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/green_tax/green/green/index.html

◇千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

◇千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

◇福岡県「福岡県エネルギー利用モデル構築促進事業」

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/energymodel.html>